

## 海洋理工学会平成21年度秋季大会プログラム

11月19日(木)

### 学会賞受賞記念講演

- 10:00-10:30 H1[堀田記念奨励賞] 有害化学物質のリスクトレードオフの研究 江里口知己(SAT)
- 10:30-11:00 H3 [論文賞] Effects of Current Meter Tilting on Current Observation  
白谷栄作(農工研)
- 11:00-11:30 H4 [業績賞] 海底地震計 OBS の高効率設置回収事業  
日本海洋事業海洋科学部 MCS/OBS グループ 片山 健(日海事)
- 11:30-12:00 H5 [業績賞] 沿岸生態リスク評価モデルの開発および無償配布  
沿岸生態リスク評価モデル開発チーム 堀口文男(産総研)

12:00-13:00 昼休み

### シンポジウム「プランクトン計測の最前線」

- 13:00-13:40 S1 顕微鏡計測の重要性・必要性 鋤崎俊二(海生研)
- 13:40-14:20 H2 [堀田記念奨励賞] 生体励起蛍光スペクトルによる植物プランクトン種組成測定  
堀内智啓(JFE アレック)
- 14:20-15:00 S2 自動撮像によるプランクトン現存量観測 秋葉龍郎(産総研)
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-15:50 S3 音響・光学手法を用いた動物プランクトン、マイクロネクトンの計測技術  
澤田浩一、甘糟和男(水総研)
- 15:50-16:30 S4 ゼラチン質プランクトンとマリンスノー：画像解析と計測の最先端  
Dhugal Lindsay, 石橋正二郎(JAMSTEC)
- 16:30-17:10 S5 基礎生産量のリアルタイム測定 才野敏郎(JAMSTEC)
- 17:10-17:50 S6 Extracting Information from Phytoplankton Time Series collected by Remote Sensing  
Trevor Platt (Bedford Inst. Oceanogr., Canada)
- 18:00-20:00 イブニングセッション

11月20日(金)

10:00-12:00 一般講演1「海洋計測」 座長 秋葉龍郎(産総研)

- A01. イメージングフローサイトメーター(FlowCAM<sup>®</sup>)による植物プランクトンの広範囲モニタリング  
小池一彦、本慶七恵(広大院生物圏)、宮村和良(大分県農林水産研究セ)  
中口和光、山口修平、郷 秋雄(広大生物生産)
- A02. 多波長蛍光光度計を用いた赤潮の観測  
西林健一郎(いであ)、原田洋一(Ids)、堀内智啓(JFE アレック)
- A03. Design of LED Lighting System as Optical Stimulus Source for Behavior Observation  
Examination of Squid Ken Ishii, Kazuhisa Uchikawa, Toshihiro Watanabe (NRIFE)
- A04. 北潟湖水の分光反射率計測 青山隆司(福井工大工)、安部礼恵(福井工大院)
- A05. 衛星リモートセンシングによる小浜湾の水質計測 - 小浜湾の水質の季節変化 -  
松井佑介(福井工大院)、青山隆司(福井工大工)

A06. 宗谷海峡域における海洋レーダ観測データのミズダコ漁業への応用

江淵直人 (北大低温研)、佐野 稔 ( 稚内水試 )、坂東忠男 ( 宗谷漁協 )

12:00-13:00 昼休み

13:00-13:40 ポスターセッション・機器展示

P01. Application of Web Direct-Access Model to Human-Machine Interface of LED Lighting System  
Ken Ishii, Kazuhisa Uchikawa, Toshihiro Watanabe (NRIFE)

P02. ピストンコア関係機器の性能・技術向上への取り組み

橋本泰志、畠山 映、佐藤悠介、林 央之、吉田和弘、松浦由孝 (MWJ)

P03. AIST-SHANEL による化学物質の海域への河川流入負荷量の推定

石川百合子、飯野佳世子、東野晴行 (産総研)

P04. 海底地震計用ハイドロフォンの簡易検査方法の開発

大西桂介、前川拓也、菅野真人、伊藤誠、片山 健 (日海事)

13:40-15:00 一般講演 2「機器開発」 座長 千賀康弘

A07. 海水帯水層検出を目的とした静岡三保半島の比抵抗構造探査

馬場久紀 (東海大海洋)、石川秀浩 (三井金属資源開発)、秋山信彦、岡田喜裕 (東海大海洋)

A08. かいこう 7000 の改善・改良 山内徳保(日海事)、月岡 哲、大澤弘敬 (JAMSTEC)

A09. 超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)を利用した無人潜水探査機ハイビジョン映像の  
伝送実験結果について 富井直弥、鈴木智美、小川恵美子、中尾正博 (JAXA)

吉田 弘、石橋正二郎、Dhugal Lindsay、石原靖久、福田達也 (JAMSTEC)

A10. ステレオ視を用いた海中探査機用映像情報 石橋正二郎 (JAMSTEC)

15:00-15:10 休憩

15:10-17:30 一般講演 3「生態系モデル 1」 座長 畑 恭子 (いであ)

A11. 幼胚の放出数を考慮した一年生海藻の伝搬増殖モデル

眞田 武 (日本港湾コンサルタント)、工藤盛徳、中田喜三郎 (東海大海洋)

A12. 複数年データを用いた泥質干潟モデルの検証と精度向上

瀧戸淑章 (農水省)、白谷栄作 (農工研)、西尾利哉 (農水省)

中田喜三郎 (東海大海洋)、芳川 忍、畑 恭子 (いであ)

A13. 佐鳴湖の水質解析

大野創介、中田喜三郎 (東海大海洋)

一般講演 4「生態系モデル 2」 座長 眞田 武 (日本港湾コンサルタント)

A14. サイズベース生態系モデルを用いた動物プランクトンの季節変動解析について

山本讓司 (産総研)、鋤崎俊二 (海生研)、堀口文男 (産総研)

A15. 東京湾におけるデカプロモジフェニルエーテルの環境濃度推定

山本讓司、恒見清孝、石川百合子、川本朱美、堀口文男 (産総研)

A16. 埋立等沿岸域開発の影響予測における数値モデルを用いた評価手法について

畑 恭子 (いであ)、向井 宏 (京大)、中田喜三郎 (東海大海洋)

A17. プランクトンを細分化した新たなモデルによる炭酸カルシウムの沈降フラックス、及び円石藻  
現存量の評価 茂木博匡、中田喜三郎(東海大海洋)